

会議の経過（要旨）

<p>事務局</p>	<p>本日は、ご多忙のところ、あま市地域包括支援センター運営協議会にご出席賜りありがとうございます。ご案内の時間がまいりましたので、只今より始めさせていただきます。</p> <p>この運営協議会は「あま市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の運営協議会終了後、会議録を作成し、市公式ウェブサイトへ掲載することとなっておりますのでご承知おきください。</p> <p>また、富田委員については現在確認中ですが、本日、服部章平委員及び村上千代子委員より欠席の連絡がありましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>はじめに、市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>(あいさつ)</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。尚、市長につきましては、他に公務がございますのでここで退席させていただきます。宜しく願いいたします。</p> <p>続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者 といたしまして 元 日本福祉大学准教授 木全 克己委員でございます。 歯科医師連絡協議会代表 渡邊 剛委員でございます。 薬剤師会代表 藤井 雅臣委員でございます。</li> <li>・地域における相談事業等を担う関係者 といたしまして 民生委員児童委員協議会会長 井村 なを子委員でございます。 居宅介護支援事業者代表 光永 美奈子委員でございます。</li> <li>・被保険者 といたしまして、 老人クラブ連合会会長 宮治 正三委員でございます。</li> </ul> <p>なお、あま市地域包括支援センター運営協議会要綱により委員の任期は、2年となっておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>福祉部長の後藤、高齢福祉課主幹の宮地、課長補佐の中井、同じく係長の伊藤、地域包括支援センター主査の川村同じく田中、同じく主事の伊藤健康推進課長の吉川、同じく係長の角田、社会福祉協議会地域包括支援センター課長の猪飼、同じく課長補佐の小野、最後になりますが高齢福祉課長の菱田でございます。</p>

	<p>それでは、まず、初めに資料の確認をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 委員名簿</li> <li>3 あま市地域包括支援センター運営協議会要綱</li> <li>4 資料1 令和3年度あま市地域包括支援センター事業経過</li> <li>5 資料2 令和4年度あま市地域包括支援センター事業計画</li> <li>6 資料3 あま市日常生活圏域の見直しについて</li> </ol> <p>参考資料としまして</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7 ふれあいケアパス</li> <li>8 はじめてみよう！！だれでもできる簡単体操室内編2</li> <li>9 心をつなぐノート</li> <li>10 生活支援コーディネーターだより</li> </ol> <p>の10点でございます。不足などはございませんでしょうか。</p> <p>続きまして、議題に入らせていただきますが、今回は任期満了後初めての対面での委員会でございますので、委員長が選出されるまで、事務局において議事進行を務めさせていただきますが、ご異議ございませんか。</p>
委 員	「異議なし」
事 務 局	<p>「異議なし」とのことでございますので、事務局にて議事進行をさせていただきます。</p> <p>それでは、「議題の（1）あま市地域包括支援センター運営協議会会長の互選について」を議題とします。</p> <p>会長の選出につきましては、運営協議会要綱第5条の規定により、委員の互選によることとなっておりますので、会長の選出をお願いいたします。</p>
委 員	民生委員児童委員協議会会長の井村なを子委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。
事 務 局	只今、井村なを子委員という発言がございましたが、ご異議ございませんでしょうか。
委 員	「異議なし」
事 務 局	<p>異議なしと認め、会長は井村なを子委員に決定いたしました。</p> <p>それでは、井村委員から会長就任のご挨拶をお願いいたします。</p>

会 長	(就任あいさつ)
事 務 局	ありがとうございました。それでは会長が決まりましたので、議事の進行を井村会長にお願いいたします。
会 長	それでは議事の進行をさせていただきます。 次に、「議題（２）あま市地域包括支援センター運営協議会副会長の互選について」を議題とします。 副会長の選出につきましても、先ほどと同様に委員の互選によることとなっておりますので、副会長の選出をお願いいたします。
委 員	元日本福祉大学准教授の木全克己委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。
会 長	只今、副会長に、木全克己委員という発言がありましたが、これにご異議ございませんか。
委 員	「異議なし」
会 長	異議なしと認め、副会長には、木全克己委員に決定いたしました。 それでは、木全委員から副会長就任のご挨拶をお願いします。
副 会 長	(就任あいさつ)
会 長	ありがとうございました。 次に、「議題（３）令和３年度あま市地域包括支援センター事業経過について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<b>資料１</b> 説明 以上で説明を終わります。
会 長	ありがとうございました。 何か質問があればお願いします。
委 員	介護予防把握事業において、シニアいきいきアンケートを実施し何パーセントくらい認知症が発見できたのか。

事務局	アンケートを実施し、67名に認知症地域支援推進員が訪問等で確認しフォローさせてもらっていますので、それをパーセンテージにしますと0.5%ほどになります。
委員	そうすると、一般的な認知症のパーセンテージからすると低いので、そのあたりをもう少し考えて今後実施していただきたい。
事務局	ご意見ありがとうございます。
会長	ありがとうございました。他にございますか。
委員	一般介護予防事業についてお聞きしたい。はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、低栄養予防教室とあるが、口腔ケアは口腔ケアリーフレット配布ときわめて簡単で他とは質が違う。やはり他の教室のように中身のあるものにならないと、配布だけでは意味がないのではないかと。来年度は同じことではなくもう少し考えてほしい。
委員	高齢者の虐待の内容を知りたい。身体的か経済的か心理的か、どうか。
事務局	本年度の相談・通報ケースのうち虐待と判断した1件につきましては、経済的虐待と心理的虐待の混合のものになりまして、最終的には虐待者と被虐待者は分離しています。 全体的には身体的虐待や暴言などの心理的虐待の相談が多くを占めています。
委員	そういうケースに市が対応するのか。
事務局	包括支援センターや担当ケアマネジャー、デイサービス職員など介護サービス事業者と連携を取りながら対応しています。また、場合によってはかかりつけ医の先生にも受診時の家族の様子等情報提供をしていただきながら、こういった対策が適切か判断しています。
委員	一応は解決するという事なのか。

事務局	相談いただいたケースで虐待と判断しなかったケースにおいては、担当ケアマネジャー、包括支援センター、その他の家族や地域の方等で、この先虐待に発展しないように見守り体制を整えて、長い目で支援していくケースがほとんどであり、すぐに解決するケースは少ないです。
委員	そうすると児童虐待と一緒だね。
事務局	そうですね。虐待されている側も虐待してしまう家族のフォローも大切になってきます。
委員	児童相談所の高齢者バージョンというわけですね。頑張ってください。
会長	他に何か質問がある方はいますか。今までの説明でよかったですか。ないようですので次にいきます。  次に、「議題（４）令和４年度あま市地域包括支援センター事業計画について」を議題とします。  事務局より説明をお願いします。
事務局	(内容説明)
会長	説明が終わりましたが、何かありますか。
委員	本年度、低栄養予防教室であったものが、次年度計画ではリーフレット配布と一段レベルが下がったように思えるが。
事務局	ひとつの部屋に集まって調理実習をすることが感染症拡大防止の観点からどうなのかと検討した結果、リーフレットを配布し啓発していくこととさせていただきます。
委員	はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、低栄養予防教室とまさに今言われているフレイル予防に即した内容であったのに、それが少しトーンが下がっている。2～3年前ならいいかもしれないが。フレイル予防について低栄養予防も大事である。コロナがどうのといことではない、指標の設定が間違っているのではないかということを知りたい。本当に感染が関係するのであれば、はつらつクラブやワクワクからだ教室の実績はどう説明するのか。厚労省も

	<p>時代に即したフレイルの内容をやってくれと言っている。だから、それを考えて欲しい。そうすると、口腔ケアも一緒に、内容の周知・啓発と言葉で言っているだけで配付して何を見つけたかが出てこない。前年度の内容を次年度は発展させなければいけない。ただ渡しているだけでは意味がない。きちんと評価して、だから次年度はこうしたというふうに持ってきて欲しい。これは検討して欲しい。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
委員	<p>本年度、地域ケア会議を開催していただきましてありがとうございました。われわれは学識経験者ということで、本当に学識だけであり、現場のケアマネジャーさんの意見を聞くことがなかなかありませんので、来年度もぜひ行っていただきたい。できたら、人数をもう少し増やしていただきたい。それが難しければ回数を増やしていただくなど検討していただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
会長	<p>他に何かありますか。</p>
委員	<p>本年度はコロナで研修が中止や延期になってしまいましたが、他市町村ではオンラインやハイブリットでそのまま開催されることがあった。新年度はあま市ではそういった対策はとられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市においては zoom での会議や研修ができる設備が整っていますが、会場が限定されるのでその調整がうまくできるかが課題になってまいります。コロナ禍においてオンラインでの開催を希望される方が増えれば、それも検討していかなければならないとは考えています。</p>
会長	<p>他には何かありますか。 ないようですので、次にいきます。 次に、「議題（5）あま市日常生活圏域の見直しについて」を議題とします。  事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(内容説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。この件に関して何かご質問はありますか。</p>

委 員	甚目寺地区の要介護認定率が高いのは高齢者の数が多いのもそうだが、後期高齢者が多いからではないのか。
事 務 局	世帯構成が関係しているのではないかと思います。七宝・美和地区においては3世帯同居の方もまだ多くいるので、介護サービスを使う前に家族が介入して何とかしているのではないかと思います。しかし、甚目寺地区においては3世帯同居が少なくなっているため、そのため早めに介護保険を使う傾向にあると感じています。ただ、正確に数を集計しているわけではないので、あくまで予測です。
委 員	それはファクターのひとつだけど、やはり後期高齢者が多ければ介護認定率は上がるでしょ。さっき甚目寺地区が後期高齢者数が多いって言ってなかったかな。
事 務 局	高齢者全体の数が甚目寺が一番多いという説明をさせていただきましたが、地区別の後期高齢者数は資料としては載せておりません。今、手元に地区別の後期高齢者数の資料がないため、申し訳ありません。
委 員	後期高齢者と前期高齢では健康状態が全然違うからそういったことも踏まえてほしい。
事 務 局	ご意見ありがとうございます。
会 長	他に何かありますか。 ないようですので以上をもちまして本日の議題はすべて終了いたしました。  「その他」に入らせていただきますが、事務局の方から何かありますか。
事 務 局	ございません。
会 長	以上で本日のあま市地域包括支援センター運営協議会を閉会させていただきます。